

# 防災気象情報の伝え方の 改善に関する取組状況

令和2年12月24日防災気象情報の伝え方に関する検討会（第7回） 抜粋

令和元年東日本台風では、大雨特別警報の解除後も引き続き大河川の洪水に対する警戒が必要であることや、台風上陸前日の「狩野川台風」を引用した記録的な大雨への警戒の呼びかけが十分に伝わっていなかった、との指摘があった。

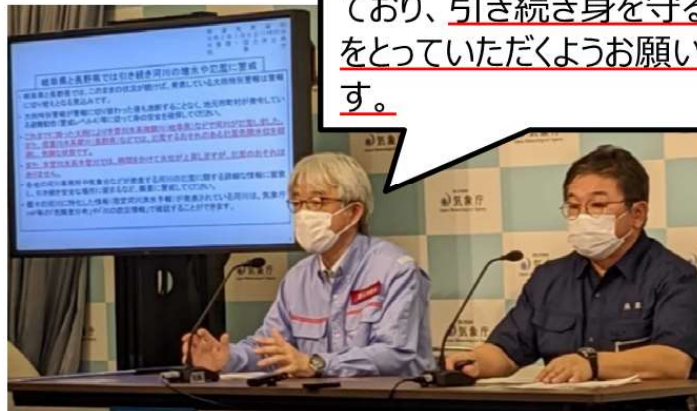
「防災気象情報の伝え方に関する検討会」では、大雨時の避難等の防災行動に役立つための防災気象情報の伝え方について課題を整理し、その解決に向けた改善策をとりまとめた。

# 大雨特別警報の警報等への切替後の河川氾濫への注意喚起

【令和2年出水期より実施】

- 令和元年東日本台風における検証を踏まえ、今年度より大雨特別警報解除後の注意喚起のため、水管理・国土保全局と気象庁の合同会見を実施するとともに、河川氾濫に関する情報を発表することとした。
- 令和2年7月豪雨においては、熊本県等に発表されていた大雨特別警報の大雨警報への切替に先立って、合同記者会見を計3回開催。また、今後の水位上昇の見込みなど河川氾濫に関する情報を発表し、引き続き警戒が必要であることの注意喚起を行った。

## 水管理・国土保全局と気象庁との合同記者会見



大雨特別警報は警報に切り替わりますが、既に氾濫が発生しており、引き続き身を守る行動をとっていただくようお願いいたします。

## 河川氾濫に関する情報（球磨川の例）

熊本県の大雨特別警報は大雨警報に切り替わりましたが、球磨川では今後も氾濫に警戒が必要です。

熊本県の大雨特別警報は大雨警報に切り替わりましたが、球磨川の洪水はこれからも警戒が必要です。天候が回復しても、氾濫が発生するおそれがあるため、洪水への一層の警戒が必要です。

■ 球磨川 では、**氾濫発生情報（警戒レベル5相当情報）** を発表中です。

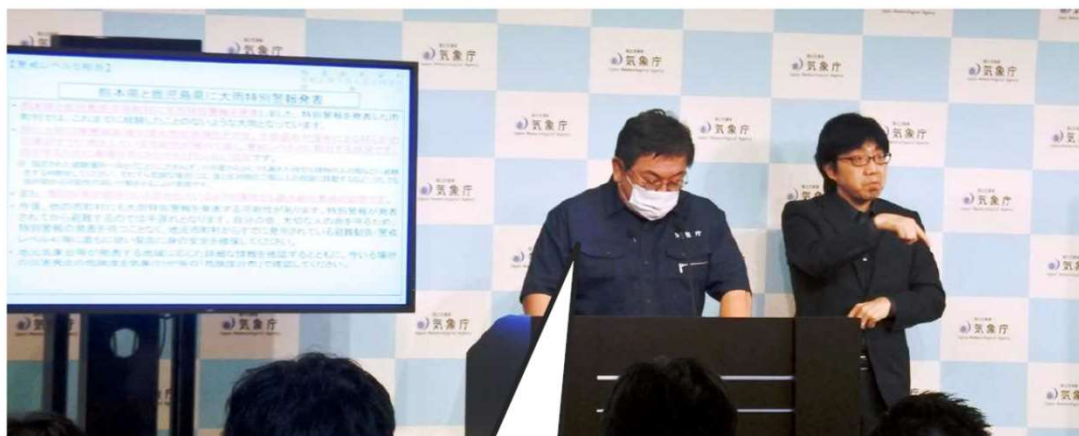
河川名	水位観測所	水位状況	今後の見込み
球磨川	球磨川 球磨川 (熊本県八代市)	氾濫発生中	水位上昇中。まもなく最高水位
球磨川	おのおの (熊本県球磨郡球磨村)	氾濫発生中	水位は横ばい
球磨川	わたりの (熊本県球磨郡球磨村)	氾濫発生中	水位は横ばい
球磨川	ひとよし (熊本県人吉市)	氾濫発生中	水位は横ばい
球磨川	いちぶ (熊本県球磨郡陰町)	氾濫危険水位超過	水位は横ばい
球磨川	たらの (球磨郡多良木町)	氾濫危険水位超過	水位は横ばい

# 特別警報を待ってはならないことが伝わる表現で呼びかけ

【令和2年出水期より実施】

- 大雨特別警報の予告や発表の際、特別警報を待ってから最善を尽くせば助かるかのような印象を回避するため、特別警報を待ってから避難するのでは命に関わる事態になるという「手遅れ感」が確実に伝わる表現に改善。

## 令和2年7月4日大雨特別警報発表時に実施した気象庁記者会見



レベル5相当の  
「手遅れ感」が  
伝わるように

「今後、他の市町村にも大雨特別警報を発表する可能性があります。特別警報が発表されてから避難するのでは手遅れとなります。」

「特に土砂災害警戒区域や浸水想定区域などでは、土砂崩れや浸水による何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高く、警戒レベル5に相当する状況です。命を守るために最善を尽くさなければならぬ状況です。もはや命を守るために最善を尽くさなければならぬ状況です。」

# 「危険度分布」の通知サービスの区毎の通知の改善イメージ

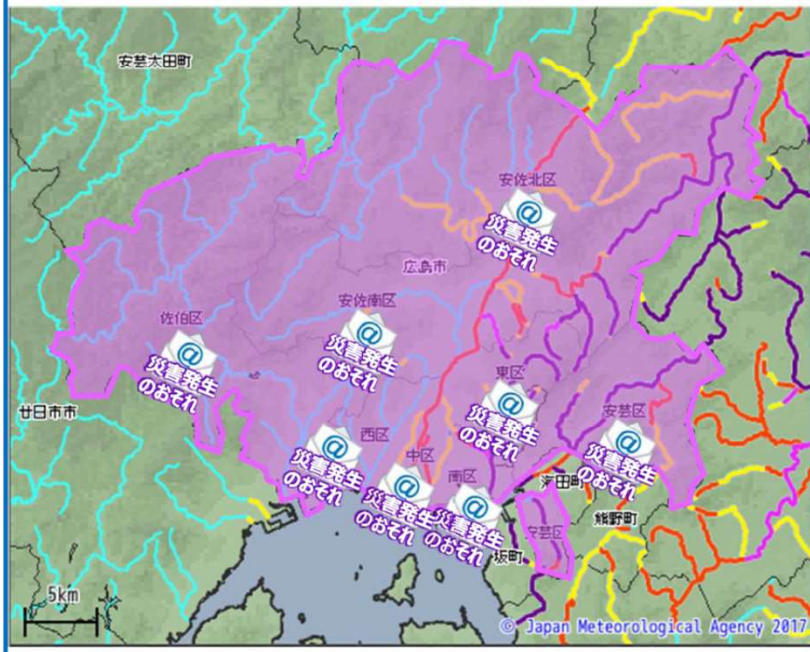
【令和3年出水期前を目途に実施】

- 政令指定都市の通知を区毎に行うことにより、危険度が低い区における通知を抑止し、真に避難が必要とされる状況となっている住民の自主的な避難の判断を促進することが可能に。

洪水警報の危険度分布における「極めて危険」（濃い紫）の通知の改善例 ～広島市の例～

## 現状

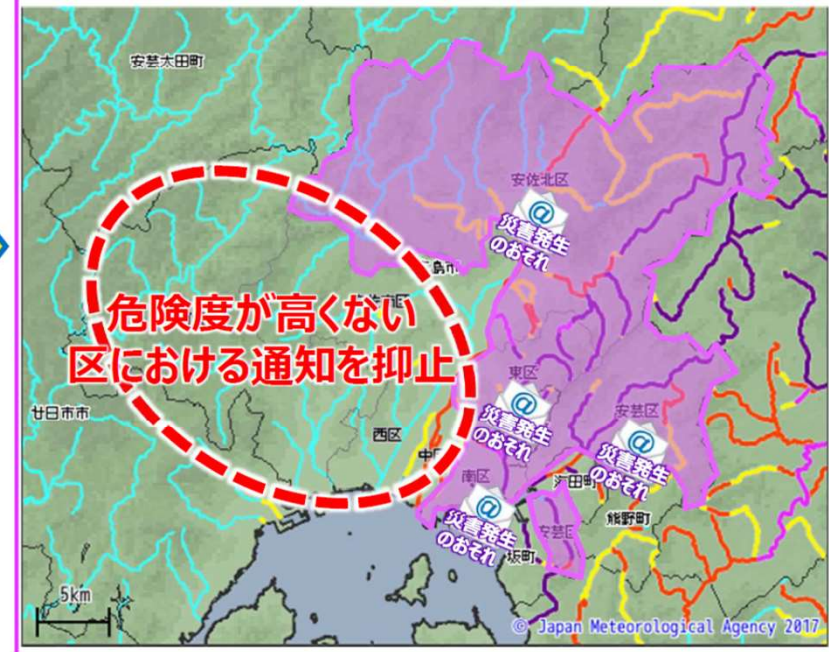
- ◆ 市内全域に通知（全区に通知）



改善

## 改善後

- ◆ 危険度が高まった区にのみ通知



「危険度分布」の通知サービスとは  
※ 住民の主体的な避難の判断を支援する取組の一環として、気象庁の協力のもとで、5つの事業者が実施するものです。



: アプリ等により通知される区

# 1日先の予想「危険度分布」等の提供開始を検討

【令和3年出水期を目途に実施】

- 台風による大雨など可能な現象について、より長時間のリードタイムを確保した警戒の呼びかけを行うため、1日先までの雨量予測を用いた「危険度分布」の提供開始を目指す。
- 予測精度を検証した上で、精度も考慮した呼びかけ方や表示方法の具体について検討していく。

## 「24時間前に予想した危険度分布」と「実際に発表した危険度分布」との比較

